

# シマサルナシ交雑実生樹の台木特性

交雑実生樹は初期生育が優れ、根腐病にも強い

## ①キウイフルーツ根腐病にはシマサルナシ台木が有効

果樹研究センターでは、**キウイフルーツ根腐病対策としてシマサルナシ台木**が有効であることを明らかにしている。

ここでは、台木の繁殖効率の向上が期待できるシマサルナシ（府中系統）とキウイフルーツ（スパークラー）の**交雑実生樹の台木特性**について紹介します。



根腐病による枯死



シマサルナシ台木は根腐病に強い

シマサルナシ台木の特徴  
根腐病に強い。  
初期収量が高くなる。  
夏季の高温乾燥に強い。

## ②シマサルナシ交雑実生樹の初期生育



各台木にヘイワードを緑枝接ぎして新梢生育を比較

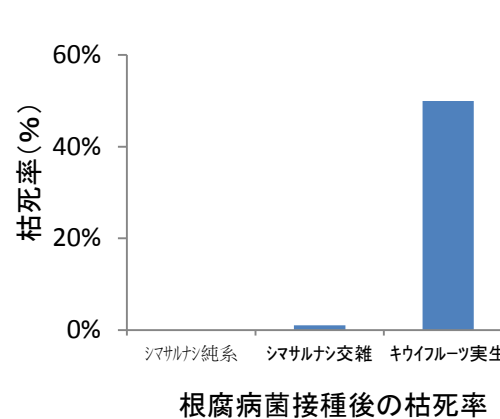
シマサルナシ純系台（赤枠）は初期生育が緩慢



★シマサルナシ交雑実生台（黄枠）は初期生育が良好で、キウイ台と同程度に生育する

## ③シマサルナシ交雑実生樹の根腐病抵抗性の評価

根腐病菌を強制的に接種して、根腐病に対する抵抗性を比較



根腐病菌接種後の根の様子

- ①シマサルナシ純系実生
- ②、③シマサルナシ交雑実生
- ④、⑤キウイ実生

（注）シマサルナシ実生214個体、シマサルナシ交雑実生159個体、キウイ実生24個体を供試。  
接種日11月20日、最終調査日12月25日。

★シマサルナシ交雑実生はシマサルナシ純系実生並みに根腐病に強い

○シマサルナシ交雑実生樹は、シマサルナシ純系実生樹に比べて、初期生育が旺盛となり、苗木の成長が優れる。

○シマサルナシ交雑実生樹は、シマサルナシ純系実生樹と同様に根腐病に強い性質が遺伝する。

○シマサルナシ交雑実生樹を台木にした‘Hort16A’（3年生樹）を根腐病発生ほ場に定植し、生育状況を調査中。これまでのところ順調に生育している。

幼木の生育状況（2012年）  
左からRR台、RC台、キウイ台  
穂木（ヘイワード）

注）RR台木（シマサルナシ×シマサルナシ）  
RC台木（シマサルナシ×スパークラー）  
キウイ台木（レインボーレッド×スパークラー）